

K E
気

SGH 通信

K O H
高

海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 2 0 号 平成 3 1 年 3 月 2 2 日 発行

【学年発表会・総合学習発表会を開催しました】

【学年発表会】1月26日（土）

大学関係者、市役所職員、市議会議員、地元企業、小中高の教員、保護者、学校評議員、地元報道機関、NPO法人など多くの方をお招きして、1学年「地域社会研究」47班、2学年「課題研究I」37名がポスターセッション方式で1年間の研究成果を発表しました。

《参観者感想》

- ・課題意識が高く、実践に近づけている発表が多かったです。是非、アクションを起こし、検証して行って欲しいと思います。（教育行政機関）
- ・地域密着のテーマで調査を行い、その成果が表れていると思いました。提案をより具体的に自分たちで実行できるものがあるとさらによくなると思います。（小中学校教員）
- ・昨年の経験が研究内容や発表に表れているように感じました。今回の発表での評価や振り返りを細かく行って、さらに次に活かして欲しいと思います。（小中学校教員）

【総合学習発表会】3月16日（土）

第1部は成果発表会として、スライド発表・ポスター発表や作品を展示し、今年度の課題研究活動や部活動、生徒会活動の成果を発表しました。第2部は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社代表取締役社長 村林聡氏を講師としてお招きし、「デジタル革命の進展と皆さんに求められる資質・能力」という演題でお話をいただきました。発表会の運営を2学年創造類型が担当。また、ポスター発表には気仙沼市立階上中学校が参加しました。

《参観者感想》

- ・テーマ設定が豊富であり、生徒の皆様の関心が様々な分野にあることを知りました。しっかり仮説を立て、調べたことに対して自分の意見を課題とともに示せていました。特に、私たちが日々取り組んでいる事業にも通じるテーマの発表は大変参考になりました。（フィールドワーク受け入れ先）
- ・課題研究に加えて、各部活動の取り組みやプロジェクトの実践報告にも地域貢献の視点や自己表現が表れていて、関心を持って拝見させていただきました。（高校教員）
- ・新たな時代に対応するためには、目的・目標をしっかり持って行動を起こすことが大切だと学ぶことができました。3つの「し」（志・師・詞）を大切にしたいと思います。（中学生）

<総合学習発表会：第1部の発表内容>

～スライド発表～

- ・「KATARU プロジェクト」（気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード2018共感賞）
- ・ 課題研究I 英語発表2題

～ポスター発表・作品展示～

- ・ 1学年「地域社会研究」10題・2学年「総合的な学習の時間」課題研究13題・自然科学部2題
- ・ 2学年「課題研究I」5題 ・調理部お弁当コンテスト1題 ・生徒会執行部1題
- ・美術部7作品 ・気仙沼マイプロジェクトアワード6題 ・気仙沼市立階上中学校1題



英語での口頭発表



ポスター発表



講演会

【北海道滝川高等学校との交流会】

1月6日（日）、本校で北海道滝川高等学校との交流会を実施しました。滝川高等学校からは1学年理数科の生徒6名に来ていただき、本校の生徒会執行部11名と交流しました。交流会では、はじめに両校の生徒がそれぞれ自分の学校について紹介し、その後、3グループに分かれて、「災害に強いまちづくりには何が必要か」というテーマで意見を出し合い、各グループの考えを全体に向けて発表しました。生徒たちは、他地域に住む高校生と災害について話し合うことで、新たな視点を得ることができたようでした。



【第6回全国海洋教育サミット】

2月9日（土）、東京大学本郷キャンパス安田講堂本校にて第6回全国海洋教育サミットが開催され、全国から多くの学校・団体が集まり、ポスターセッションでは65テーマの発表がありました。本校からは、1学年地域社会研究2題（7名）が参加しました。自分たちの研究内容について、外部の方々から質問や意見をいただくことができ、今後の研究に生かすことのできる経験となりました。



【福井県立若狭高等学校 SSH 研究発表会】

2月16日（土）、福井県立若狭高等学校でSSH研究発表会が開催され、本校2学年創造類型5名と1学年4名が参加しました。午前には、若狭高校2学年文理探究科（国際探究科、理数探究科）の生徒の口頭発表を見学し、本校生は他地域の現状や課題について知ることができたようでした。午後は、体育館でのポスター発表に参加し、本校からは2学年課題研究I 5題と1学年地域社会研究1題の発表を行いました。聴衆が発表者に対してコメントシートを渡すという形式で行われ、本校生も今後の研究につながる感想や意見をもらうことができました。



【マリンチャレンジプログラム全国大会】

3月10日（日）、新宿住友スカイルームでマリンチャレンジプログラム2018全国大会が開催され、全国から選抜された15チームによる口頭での研究発表が行われました。本校からは、昨年8月に北海道・東北大会で優秀賞に選ばれた自然科学部が出場し、2学年4名の生徒が参加しました。自分たちの研究を多くの方々に伝えるとともに、他校の研究について知ることのできる機会となりました。



～ これからのイベント ～

【2019 東北地区 S G H 課題研究発表フォーラム】

3月23日（土）、東北大学川内キャンパスを会場に、2019 東北地区 S G H 課題研究発表フォーラムが開催されます。本校からは、2学年創造類型4名と1学年15名が参加します。1年間の研究成果を発信する場として、2学年4名はプレゼンテーション発表（英語発表2名、日本語発表2名）を行い、1学年は地域社会研究の3班がポスター発表を行います。

【A P U（立命館アジア太平洋大学）研修】

3月25日（月）から27日（水）の3日間、大分県にある立命館アジア太平洋大学にてA P U 研修が実施され、本校からは2学年4名と1学年4名が参加します。異文化理解を深めることや、語学力・プレゼンテーション力の向上を目的とし、留学生との交流や英語による課題研究の発表、留学生によるプレゼンテーション研修会等が実施される予定です。